

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業計画書（収益性向上対策）
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書

都道府県名 栃木県

報告：令和7年8月29日

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												スマート農業推進枠	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性				
					現状				目標				実績					導入・定着の取組の実施内容	事業実施前年度									目標年度			
					年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積													生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト
R7 評価【達成】	21	足利市	いちご	足利地区は本県の主要ないちご産地のひとつとなっているが、近年資材・燃料費の高騰等の影響を受け、生産コストの低減や安全生産が課題となっている。今回パイプハウスの設置や農業機械導入を行うことで、生産規模の拡大及び生産コスト・労力の低減化を図り、経営の安定化や市場競争力のある強い産地を目指す。	販売額の17.2%以上の増加	R1	476,424,000円	8.44 ha	384,826 kg	1,238 円/kg	1,238 円/kg	R6	557,842,000円	10.8 ha	479,246 kg	1,164 円/kg	1,164 円/kg	R6	573,080,248円	9.86 ha	446,041 kg	1,285 円/kg	1,285 円/kg	0.963 (JA足利販売実績による)	551,876,279円	出荷終了後に反収とkg単価で検証	【達成】92.6% (551,876,279円) / (557,842,000円) = 92.6%	多くの取組主体で目標達成することができたことから、達成率90%を超え、概ね目標を達成できた。一方、一部の取組主体については、病気(炭疽病、萎黄病)や病害虫の発生によって収量が減少するなどの課題が残ったため、今後も引き続き病害虫防除等の適切な栽培管理のための技術支援を徹底し、目標達成に向けて支援していく。	生産面積の拡大や生産技術の向上等により、産地パワーアップ計画の目標は概ね達成された。一部取組主体では病害虫の発生等による減収が見られたため、今後も引き続き病害虫防除等の適切な栽培管理のための技術支援を徹底し、目標達成に向けて支援していく。		
R7 評価【達成】	24/VI(整備)	矢板市全域	いちご	高設栽培ベンチ及びスプリンクラー並びに低コスト耐水性ハウス及び集出荷貯蔵施設の導入等により収益性の高い施設野菜(いちご)産地の生産力を増強	販売額10%以上の向上	R元	203,066千円	5.15 ha	125,721 kg	1,615 円/kg	1,615 円/kg	R6	248,593千円	5.25 ha	166,856 kg	1,490 円/kg	1,490 円/kg	R6	286,155千円	5.44 ha	215,519 kg	1,327 円/kg	1,327 円/kg	0.93	266,124(千円)	・現状値は令和元年度の販売実績とした。 ・目標値は非事業取組生産者は過去5ヶ年の地区平均単価と令和元年度の生産者ごとの販売数量を基に算出し、事業取組生産者は実績値及び導入設備等を勘案し算定した。 ・実績値は目標年度の販売実績とする。 ・事後評価は現状値と実績値を比較して実施する。	【達成】138.5% (266,124千円) / (248,593千円) = 138.5%	高設栽培ベンチ及び低コスト耐水性ハウス等の導入により生産効率が上がった。それにより、出荷量が増加し、目標額を達成することができた。作物の適正な管理ができたことも、その要因と考えられる。	販売額については目標値を達成しており、販売単価についても、JAしおのや(矢板市、さくら町、塩谷町、高根沢町)の平均単価を上回る結果となった。要因としては、低コスト耐水性ハウスの導入による栽培面積の増加や、高設ベンチ導入による作業効率の向上等が挙げられる。今後も個別巡回や栽培講習会等により支援する。		
R7 評価【達成】	26/VII(整備)	真岡市二宮地区	いちご	低コスト耐水性ハウスの整備、養液栽培システムの整備、パイプハウスの資材費他	産地総販売額の33%以上の増加	R3	389,623千円	4.83 ha	319.0 t	1,221 円/kg	1,221 円/kg	R6	518,695千円	5.77 ha	422 t	1,229 円/kg	1,229 円/kg	R6	624,024千円	6.3 ha	426 t	1,465 円/kg	1,465 円/kg	0.922	575,350(千円)	JA販売青果物システム直売・道の駅出荷伝票との比較で検証	【達成】143.8% (624,024千円) / (434,000千円) = 143.8%	規模拡大や栽培方式及び品種転換により生産量が増加し、目標達成につながった。引き続き、適切な管理に努めることにより、更なる単収向上が見込まれる。一方で、年々厳しくなる夏季の高温は、花芽分化の遅れや病害発生の原因となっており、収量や品質への影響が課題となっていることから、関係機関と連携した対策指導を継続し、産地の生産力の強化を目指していく。	面積拡大や栽培方式及び品種転換により生産量が増加し、目標達成につながった。引き続き、適切な管理に努めることにより、更なる単収向上が見込まれる。一方で、年々厳しくなる夏季の高温は、花芽分化の遅れや病害発生の原因となっており、収量や品質への影響が課題となっていることから、関係機関と連携した対策指導を継続し、産地の生産力の強化を目指していく。		
R7 評価【達成】	28	足利市	トルコギキョウ	①パイプハウス資材導入による生産面積の拡大 ②機械のリース導入による収量及び品質の向上	販売額の10%以上(21.3%)以上の増加	R3	174,139千円	2.66 ha	1,274 千本	137 円/本	137 円/本	R7	211,238千円	3.23 ha	1,464 千本	144 円/本	144 円/本	R6	268,055千円	3.23 ha	1,623 千本	165 円/本	165 円/本	-	-	JA足利販売実績により検証 現状値は令和3年産(令和2年8月～令和3年7月) 目標値は令和7年産(令和6年8月～令和7年7月)	253.1% (268,055千円) / (105,800千円) = 253.1%	関係機関と連携した栽培指導や産地生産者間の勉強会等の実施により、目標値を超える実績となっている。現在の体制を維持することで、評価年度での目標達成が見込まれる。	R6年実績において、目標値を大きく上回っていることから、目標年度の達成が見込まれる。	令和6年実績において、目標値を大きく上回っていることから、目標年度の達成が見込まれる。	

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加(続き)

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標															スマート農業推進枠		地域(県又は国を含む) の価格(販売単価)		補正係 数	価格補 正後の 実績	事後評価の検証方 法(※定量的な検 証ができるこ と。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の 実現可能性			
					現状					目標					実績					導入・定着の取組 の実施内容	事業実施 前年度	目標年度												
					年 度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年 度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年 度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位															
R7 【未達成】 栃木市 農業再 生協議 会	IX (整 備)	栃木 市、壬 生町	トマト	選果機6条 フリートレイ式 等	単位面積当 たり販売額 の12.8%の 増加	R3	5,313千円 /10a	26.99 ha	5,784,495 kg	247円 / kg		R6	5,994千円 /10a	26.99 ha	6,036,938 kg	268 円 / kg		R6	6,735千円 /10a	24.79 ha	5,414,883 kg	308 円 / kg					0.835	5,623千 円/10a	・トマト実績管 理表 ・JAしもつけト マト部会作付面 積調べ	45.5% (5,623- 5,313)/ (5,994- 5,313)	一元選果の本格化・ 品種統一により、単 価が回復し販売金額 が上昇したが、高温 障害の発生により収 穫量が減少したため 総販売額が伸びず、 目標販売額未達成と なった。 高温障害について は、関連機関との連 携し、有効な対策が 実施できるような情 報共有等を行い、目 標達成に向けて支援 を行っていく。	高温障害対策の実施 によるさらなる販売 額の増加を図り、目 標達成に向けて支援 する。		高温障害果 の発生によ る収穫量減 少により、 総販売額が 伸びなかつ た。 高温障害対 策の実施に よるさらな る販売額の 増加を図り、目標 達成に向けて 支援する。

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業計画書(生産基盤強化対策)
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書

都道府県名 栃木県

報告：令和7年8月29日

II 産地パワーアップ計画(生産基盤強化タイプ)

1 成果目標

(1) 農業用ハウスの再整備・改修

ア 産地の成果目標

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	産地の成果目標(総販売額又は総作付面積の維持又は増加目標)												事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)			補正係数	価格補正後の実績	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性								
				現状				目標				実績					事業実施前年度	目標年度	単位															
				年度	面積	総販売額	単位	年度	面積	総販売額	単位	年度	面積	総販売額	単位																			
R7 評価 (達成)	足利市農業再生協議会	基強3	足利市	トルコギキョウ	R3	総販売額	2.66	ha	174,140	千円	R6	総販売額	2.829	ha	182,891	千円	R6	総販売額	2989	ha	247,262	千円	JA足利販売実績による検証	179	208	円	0.861	212,788	441.6%	(212,788千円-174,140千円)/(182,891千円-174,140千円)	収量、販売額ともに順調に増加し、想定以上の効果が得られた。今後も関係機関と連携し、産地の発展を支援をしていきたい。	収量、販売額ともに順調に増加し、設定した目標を達成することができた。引き続き、関係機関と連携し、支援を行う。		